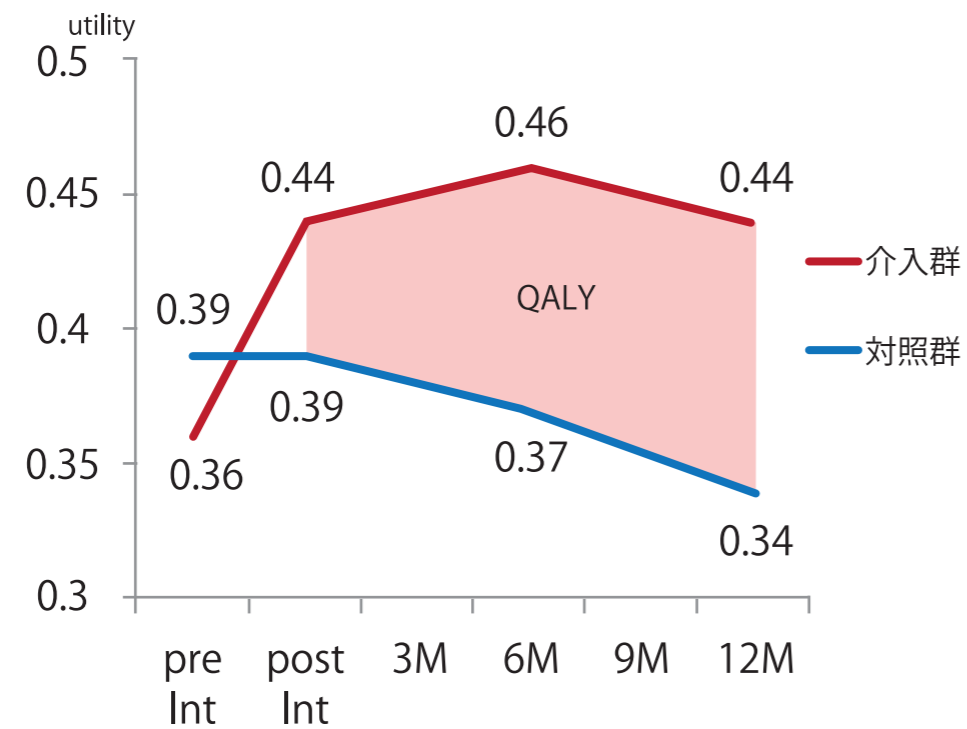


230名を対象にランダム化比較試験を実施した。生活行為向上マネジメントによる介入をおこなった群では、介入から1年経ってもQOLが維持されていたが、対照群は徐々に低下をたどった。

増分費用対効果 (Incremental cost effectiveness ratio: ICER)は 23.8万円/QALYとなり、十分な費用対効果が認められた。

(能登真一ら:通所リハにおける「意味のある作業」の費用対効果。日本作業療法学会抄録集(1880-6635)47回, Page 0333, 2013.)



介入後1年間のHealth Utilities Indexにおける効用値の変化



生活行為向上マネジメント

MTDLP

Management Tool for Daily Life Performance



生活行為向上マネジメント

©Japanese Association of Occupational Therapists

発行

一般社団法人
日本作業療法士協会

2014年11月
〒111-0042 東京都台東区寿 1-5-9 盛光伸光ビル7階
電話 (03) 5826-7871
FAX (03) 5826-7872